

熊本地震で大被害 日遊協支援

6社11店舗で営業不能

本部200万円、会員からも寄付

日遊協は4月21日、熊本地震での九州支部会員の被害状況、義援金、ボランティア対応等を以下の通りまとめた。

1 被害状況

〔熊本県内に本社がある会員企業〕

大劇(熊本市、ホール) 10店舗中

5店舗が営業不能。社員は無事。

▽司観光開発(玉名市、ホール) 11店舗中3店舗が営業不能。発生時、お客様がけが、直ちに閉店した。

〔その他、熊本県に店舗がある会員企業〕

三宝商事(本社・長崎市、ホール) 2店舗が天井落下で営業不能。

▽テンガイ(本社・福岡市、ホール) 3店舗中2店舗は水が通れば営業可能。1店舗は天井落下で営業不能。

▽タイラ ベストビート(本社・福岡県小郡市、ホール) 1店舗だが被害は小さく通常営業。

▽マルハン(本社・京都市、ホール) 2店舗が営業見合わせ。

2 義援金、ボランティア対応

〔本部対応策〕

①熊本県「熊本地震

義援金」に150万円寄付 ②ボ

ランティア団体支援としてNPO

法人「難民を助ける会」に50万円

をボランティア団体応援基金から

寄付 ③被災会員企業へお見舞金

〔九州支部対応〕

①救援物資として

水のペットボトル50ケース(120

0本)、カップめん100ケース

(1200食) ②九州支部ボラン

九州支部が支援と被災状況調査

日遊協九州支部は4月21、23日の

2回、熊本地震で被災した支部会

員等の支援と被災状況の調査を行

い、24日までに結果を報告した。

〔4月21日〕調査者 福山裕治支部

長、有川裕之支部ボランティア隊

隊長、八坂慎吾副支部長、大野英

明事務所長

▽主な調査場所 福岡市 熊本市間の経路、熊本市東

区(株)テンガイのフェスタ戸島店

同市西区のジーピーエム(株)熊本支

店、同市中央区の熊本県警本部

▽支援物資 飲料水500mlペッ

トボトル50ケース、カップめん1

00ケース

車両2台に分乗。大雨だったが

福岡市 熊本市間の高速道路約90

kmは通常通りの走行。熊本ICの

約14km手前の植木ICで通行止め

となり、車両は国道3号線に集中

し渋滞。菊南 合志地区經由のう

回路を使って熊本入りした。熊本

県警本部に立ち寄ったが、車寄せ

とエントランスに10cm近い段差が

できていた。

フェスタ戸島店を訪問した。店

長によると、被害は比較的軽微で

営業再開できると思っていたとい

うが、折からの大雨で店内に雨漏

りが発生し、対応に追われていた。

駐車場、屋外トイレを住民に開放

していた。他の店で天井、壁、ガ

ラスの崩落等があるが、部材や補

修できる業者がおらず、復旧の見

込みが立っていない。店員も被災

している。店長も親が益城町にお



支援物資の積みおろしをするボランティアのメンバー

ティア隊による活動を検討 ③支

部総会等で募金を実施予定

明るく笑顔で対応していて、感銘

を受けた。続いて訪れたジーピー

エム熊本支店の支店長は、前震後、

自宅に帰れず、近くの建物の駐車

場で2日間野宿、その後車を確保

して車中泊をしていた。

〔4月23日〕調査者 有川隊長、大

野事務所長

▽主な調査場所 益

城町、同町ボランティアセンター

益城町役場周辺の被害がひどく、

ほとんどの家屋が倒壊していた。

住民は同町交流情報センター、駐

車場、テントに避難。駐車場は数

百台の満車状態で、隣接の競技場

トラックまであふれていた。ボラ

福山裕治支部長を選出「難局に身を
引きしめて」

日遊協九州支部は4月7日、福岡市のグラントハイアットで2016年度の支部総会を開いた。

開会にあたり樋口益次郎支部長は「我々は個人のことを考えるのか、業界のことか、お客様のことを考えるのか。ひとりひとりの考え方で大きく変わってくる。業界の健全な発展のためにご協力をお願いしたい」とあいさつした。

来賓の庄司孝輝会長は「高射幸性やくぎの問題など直近は大きな

課題を抱えているが、今後大きな課題のひとつとして、業界経営の行き詰まった状況を変える法令改

正があります。今年には各団体が集まって現在の矛盾や整合性の問題を集約して全体としての意見をかためていくときでもあります。それにはまず高射幸性やくぎの宿題をひとつひとつきちんと片づける必要があるわけです」と強く訴えた。

◀就任に当たり力強く抱負を述べる福山裕治新支部長



議事に入り、九州支部長選任の件を審議し、樋口益次郎支部長の推薦する福山裕治副支部

長の就任を満場一致で承認した。西谷淳、山本龍彦両氏を副支部長に指名した福山新

支部長は「昨年から続く難局に対し今後、業界の動きが厳しく問われるものになります。新支部長として身の引きしまる思いです。九州支部の30年へ向けて、業界の存続、次世代の育成に、皆様のお力を借りながらまい進していきます」と決意表明した。

新支部長を選出した九州支部総会

報告事項として、西谷副支部長から「支部活動報告」、伊東慎吾常務理事から「本部活動報告」、八坂真吾役員から「九州ボランティア基金の収支報告」、福山新支部長から「2016年度九州支部重点推進事項」の説明が行われた。

第2部の講演会に移り、認定NPO法人の西村直之代表理事が「パチンコ依存(のめり込み)について」と題し依存の実際と対処を講演し、依存問題PTの安藤博文リーダーが「自己申告プログラム」を具体的に解説した。

第3部の懇親会は、岩見吉朗相談役が「新支部長をしっかりと支え、業界の発展に尽くそう」と激励し、乾杯の音頭をとった。にぎやかに交流が始まった席上、支部長を退任した樋口益次郎氏と副理事長を退任した八坂真吾氏に花束が贈られた。

新事務所長が就任

近畿支部 和泉未喜男氏
中国・四国 村上秀樹氏

日遊協2支部の事務所長が5月1日付で交代した。近畿支部事務所長には河村美三氏に代わって和泉未喜男氏(写真・右)が、中国・四国支部事務所長には成光一夫氏に



代わって村上秀樹氏(写真・左)がそれぞれ就任した。



和泉氏は1955年10月生まれ。60歳。75年大阪府警採用。

今年3月天満署生活安全課長(警部)で定年退職した。また、村上氏は1956年2月生まれ。60歳。75年広島県警採用。今年3月本部サイバー犯罪対策課次席(警部)で定年退職した。

日遊協支部事務所長会議

河村美三、成光一夫の両氏
退職事務所長を表彰

日遊協支部事務所長会議が4月28日、本部会議室で開かれ、7支部の事務所長が出席した。

4月30日付で事務所長を退任した近畿支部の河村美三氏、中国・四国支部の成光一夫氏が庄司孝輝会長から退職職員表彰を受けた。

□その他の支部事務所長出席者。(順不同・敬称略)

藤井巖(北海道)、氣仙浩一(東北)、松尾利光(東京都・関東)、眞野年之(中部)、大野英明(九州)

近畿支部総会

福井章支部長が5期目就任「安心安全な遊技の確立を」

日遊協近畿支部は4月15日、大阪市のKKRホテル大阪で2016年度支部総会を開いた。

来賓として庄司孝輝会長があいさつに立ち「検定機と異なる性能の可能性がある遊技機、いわゆるくぎ問題で昨年来業界は揺れ動いている。業界としてなかなかまとまらないうちに一般紙が報道するなど社会問題化した。日遊協は業界の声明をまとめる努力をしてきた。方向性がようやく確立したが運用面ではまだいろいろ問題がある。最終的に検定の担保を行うのが目的で日遊協も取扱主任者の充実などで寄与していく。この1、2年ハードルが高いくれども、気軽に出来るパチンコを充実させ3年後にはファンが増える展望をつかみたい」と方針を示した。

行政からの来賓として、大阪府警察本部生活安全部廣瀬敬次郎保安課長が「遊技の健全化」の講話を行った。

福井支部長の再選などを決めた近畿支部総会



われた。会場から推薦があつて、福井章支部長の再選が満場の拍手で決まった。

福井支部長は「くぎ、高射幸性など業界に大きな問題がクローズアップしています。遊技機など不安材料がある。その中で、安心安全な遊技で初心者やスリープユーザーを迎え入れる努力をしなければならぬ。今回支部長に選出

5期目の支部長を務める福井章支部長

業界情勢を柱にあいさつした庄司孝輝会長

されましたが、本部とも十分話し合っているのです、どうやっていかはわかってはいるつもりです。今回で5期になり10年務めることになり。今回はなんとしても後継者を作っていたくことにして、2年間全力をあげてがんばります」と決意表明した。

本部活動として、堀内文隆専務理事が「業界の諸問題について」、伊東慎吾常務理事が「日遊協諸活動について」報告して総会を終了した。

第2部として「日遊協セミナー」が開かれ、大久保正博副会長が「今後の遊技機を中心とした業界動向について」と題し講演し、「ちよいパチ」をはじめ「封入式遊技機」を含め、遊技機の現状と今後のあり方について具体的に展開した。

次に、近畿支部セキュリティ対策部会が「最近のゴト事例紹介とゴト対策について」恒例のレクチャーを行い、映像も含めてわかりやすく分析、解説した。

第3部は、各方面からお客様を招いて懇親会を開いた。庄司孝輝会長の乾杯でスタートした会場は、にぎ

やかに交流を深めて盛りあがった。

日遊協、警察庁と連絡会議

「課題と対策」を協議

日遊協は4月21日、東京・千代田区のグランドアーク半蔵門で警察庁との連絡会議を開き、日遊協からは庄司孝輝会長以下7人の副会長、相談役らが出席して担当官に現在の業界状況、日遊協活動などについて報告し、意見交換を行った。

庄司会長が現在の課題を中心に報告したあと、各担当から回収対象遊技機、高射幸性遊技機の取り扱い、「ちよいパチ」、依存問題対応、新流通制度などについて報告された。報告に基づいて意見交換が行われ、庄司会長が、業界の今後の運営について「今後とも連絡を密にして業界の健全化に努力したい」と結んだ。

□日遊協出席者

【会長】 庄司孝輝

【副会長】 大久保正博、兼次民喜

谷口久徳、筒井公久、樋口益次郎

福井章、和久田守彦

【相談役】 深谷友尋

【事務局】 堀内文隆専務理事、伊東

慎吾常務理事、山本健二事務局長、

茂木欣人風営法PTリーダー